有紀

代表取締役
橋本 保氏

電源いらずの安全自動ドア

木製の防火ドアの製造・販売を手掛ける当社は、近年の安全・安心に対するニーズに着目し、電源不要の自動ドア「オートドア・ゼロ」の販売を開始しました。この「オートドア・ゼロ」は、ドア前後の床下に埋め込んだ踏板を利用者が踏み体重をかけることで、床下の機構部が作動しドアを開閉するという製品です。20kg程の重量で開閉可能で、小さな子どもが誤って自動ドアを開閉させ挟まってしまうといった事故を防ぎます。自動ドアは私たちの生活に非常に密着し、様々な施設で導入されています。しかし、平成23年の東日本大震災では電力供給がストップしたために自動ドアが開閉せず、建物内からの避難を遅らせる一因にもなりました。また、震災後高まっている節電や環境配慮に対するニーズに、電源不要でメンテナンスフリーの「オートドア・ゼロ」は大きく貢献します。従来の電源を不要とする自動ドアはシーソーの原理を用いて床板を踏みドアを開閉する仕組みを採用していました。「オートドア・ゼロ」は電車の電力供給に用いられるパンタグラフの構造を床下に構築し、よりスムーズでメンテナンス性の向上を実現しました。「オートドア・ゼロ」は大手飲食店舗チェーン「餃子の王将」で数多く採用されているほか、高速道路サービスエリア内のトイレ、災害時の安全な避難が求められる医療施設や介護施設などで採用実績を伸ばしています。今後も「オートドア・ゼロ」を通じて幅広い施設の安全・安心、そして省エネ・環境配慮を提案していく考えです。

▶「オートドア・ゼロ」を実演する橋本社長